

「自分の目で見て現実のものだと強く感じました」

ピースツアー・ピースアクション報告

パルコープでは毎年、「平和の大切さ」「被ばく体験を風化させず、次世代へ伝える」ためピースツアーを行なっています。5年ごとに開催されるNPT(核兵器不拡散条約)再検討会議を来年にひかえた今年も、被爆地ヒロシマ・ナガサキを訪れ、原爆のつめあとや平和資料館を見学し、平和の式典に参加しました。



ながさきラコープの語り部さんの案内で

ヒロシマツアー

8月4日(月)～6日(水) 27名参加

行くところ行くところで焼け残ったものが訴える原子爆弾の威力の強さを痛感し、驚くばかりでした。資料館に残る遺品や様々な記録、見ること読むこと初めてのものばかりで、これこそ伝えるべきものだと思います。これまで平和の学習でたくさんの方から伝えられてきたものが、自分の目で見て現実のものだったのだとより強く感じました。

(天王寺区 Yさん・20歳)



ナガサキツアー

8月7日(木)～9日(土) 12名参加

原爆のつめあとめぐりでは観光では知れない部分を深く勉強でき、語り部さんの存在の大切さが分かりました。原爆を知らない世代が増えていくことに大変不安を感じます。本来人は皆優しいのだと思うけれど、戦争という名のもとに悪魔に変わる…人を狂わせる戦争は絶対にしてはいけません。改めて、8月9日「長崎の日」を大切にしたいと思います。

(此花区 早川さん)



「虹のひろば」で出展

広島での日生協主催「ピースアクション」に今年もパルコープから組合員活動メンバー9名が参加しました。(8月5日)

ピースリレーの写真をみて、“あの御堂筋を歩いているの!?”と他生協の方にびっくりされました。私たちのピースリレーってちょっと自慢できる。続けてきてよかったと改めて思いました。

(寝屋川市 岸本さん)

みんなで折った折鶴がヒロシマへ



講演後、折鶴を折り、平和のモチーフと千羽鶴にして、ピースアクションの会場に届けました。(完成品のカラーは20ページ左上)

地球の危険の一つは、核兵器。かつてヒロシマでは、炸裂して1秒で半径300mが火の玉となり大きな悲劇が起こりました。今の核兵器は、その100倍の威力があり、3kmの大きな穴があき、核の闇が訪れます。世界中

くらしの公開講座

親子で学ぶ、ヒロシマ・ナガサキのころ～

8月1日 O B P 円形ホール 参加168名

最初にアニメ映画「100ばんめのサル」を子どもたちと一緒に見ました。「少人数でやっているとなかなか広がらなかったことが、100番目のサルが行動を起こした時に、多数派となり“当たり前前の良いこと”が一気に進みだす」と確信を持てた映画でした。

パルコープでは3回目の講演となる、前ヒロシマ平和文化センター理事長であるステイブ・リーパーさん。今回は「平和文化」の話でした。内容の一部を紹介します。



ステイブ・リーパーさん

「平和文化」とは、社会的健康であること。『自分さえ良ければ』と思うのが「戦争文化」の特徴です。世界では、世界中の人口が必要とする2倍の食物を作っているのに、飢えている子どもたちや、治せる病気すら治してもらえない多くの子どもたちがいます。地球を細胞の集まりと考えれば、すべての細胞が健全なだけではなく、一部の細胞は自分だけに栄養を集めようとしています。国という単位にこだわらず、地球人でありたいものです。

地球の危険の一つは、核兵器。かつてヒロシマでは、炸裂して1秒で半径300mが火の玉となり大きな悲劇が起こりました。今の核兵器は、その100倍の威力があり、3kmの大きな穴があき、核の闇が訪れます。世界中で核兵器を持っている国は、使われないでいることができるでしょうか。我々、大人が解決しなければならぬことです。もう一つは地球温暖化の問題です。地球上に住めない地域が現れてきており、海水面の上昇は、日本でも大きな問題です。日本は役割を果たすべき国です。ヒロシマ・ナガサキ・フクシマの国として、核を解決する先頭にたつ運命です。アメリカが核を持ったままで、核兵器廃絶を言っても、核はなくなりません。核廃絶に向けて、全世界が「上映されたアニメ映画の100ばんめのサル」のように、協力することが必要です。署名活動は今すぐできるすごく大事なことです。世界で核兵器禁止条約の運動を高めていきましょう。

せんそうは止めるということを広めて、原子ばくだんは使わないといいと思います。ばくにできることは、せんそうを止めるためにみんなに声かけをしたいと思っています。(端野くん・小学4年)

※「核兵器禁止条約の交渉開始等を求める要請書署名」は、このはるタイムにとじ込んでいます。

東日本大震災・被災地の現状報告会 <7月27日 大阪市中央公会堂 約550名が参加>



岩手県陸前高田市長戸羽 太さん

市長に着任1カ月で迎えたあの日、私は市役所の中で助けられ生きのびましたが、家に居た妻が亡くなりました。混乱の中、市長が先頭にたつべきと家のことは省みず市内を駆け回り、捜索願を出していただくと知り、公と私の間で何とも言えない辛さを感じました。

教訓と反省の第一は、情報の取り方。確かな情報と信じ、市民もそれなりに訓練もし、ハザードマップも作って防災意識を持っていました。が、市職員など111名を含む住民の多くが犠牲に。情報を鵜呑みにせず、事態を重く考えることの大切さを感じました。

現在の街の復興は、住んでいたところと同じ場所に住めるように山を約3分の2削った土で地面を高め、年度内に高台移転の27カ所のうち25カ所を可能にしたいと工事をすすめています。

最初、「あの街に桜が咲けば」を上映。桜の植樹で津波の到達点をつなぐ活動の映画でした。私たちができることは「記憶にとどめること」「教訓とさせていくこと」「活動を続けていくこと」だとの意識をあらたにしました。

まず、東京オリンピックの工事が始まれば流れてしまうであろう資材・人材を早急に確保して造成し、区画をつくりたいのですが、入札が高騰し整わない状況です。また土地の権利問題も大きく、地権者が入り組み、持ち主である遠方の相続人の印鑑までもらうに行かないと工事ができないことも。スピードをあげて復興にとりくめるように非常時の借地権設定など、国に種々の交渉もしているところです。

陸前高田市は、市民全員が多くのものを失ってしまった街です。今から作る街は、誰もが当たり前に住める街に。被災前より良い街に。

3年経ち、なかなか支援をしてもう一つは難しくなりましたが、気楽な観光で良いので訪れてもらい「応援」をしていただければと思っています。

遠野通信

NO.58

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

この夏、大学生ボランティアの受入れをしました。「震災当時の皆さんはどうしていましたか?」と尋ねると「当時は中学3年生で…」と。被災地では仮設住宅に入居した当時、例えば中学1年生だった子どもは高校生になっています。4人世帯で入居した『標準2DKの仮設住宅』は、ますます狭くなっていることが容易にくみ取れます。

今回、大学生と一緒に「お茶っこ」にお邪魔した仮設住宅の集会所に『住まいに関する住民の声』が張り出されていました。「狭い」、「夏は暑く冬は寒い」という声とともに「早く自分の家が欲しい」、「公営住宅に当選したい」という要望が多く出されています。

自助・共助では限界のある住居問題。公助の役割を求める署名『被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を』に、ぜひご協力をお願いします。

(岩手県遠野市に常駐するパルコープボランティア事務局・林さんより)



ずっとボラの会(ボランティア参加者の有志の会)よりお知らせ

ずっとボラの会ではパルコープの店舗で「東北復興応援グッズ販売」をしています。ぜひ、お立ち寄りください。

日 程	会 場
10月5日(日)	西 ぐ ず は 店
11月2日(日)	つ る み 店

いずれも時間は10時～15時。

パルコープの店舗一覧はコチラ。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

◎ながお店(8月3日)でグッズ販売などをしました。
売上げ74,150円 募金8,250円

※ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>



よどがわ生協・ならコープ合同企画

お1人でもご家族でも

参加者募集

第13回「岩手ボランティアバス」

【日程】11月10日(月)～11月13日(木)

【申込締切】10月10日(金)

【募集定員】30名(3生協定員・最低実施人数15名)

いわて生協さんのふれあいサロンにも合流します。今までに参加された方も、申し込みを受付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】お1人12,700円(ボランティア保険含む)

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バス1台で行きます

1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時予定) <車中泊>
2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動、被災地視察 <宿泊泊>
3日目 ボランティア活動 <車中泊>
4日目 パルコープ本部前到着(9時～10時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。
*各回のボランティアの内容と場所は、現地での要請に基づきます
*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内
*宿舎は男女別・相部屋
*天候不順や人数が満たない場合中止になることがあります

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組合員活動部

☎06-6242-0904 (月～土 9時～18時)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2014年3月21日～2014年8月20日)
7,807,395円 (うち、陸前高田花火大会実行委員会)への協賛金として100万円寄贈しました)